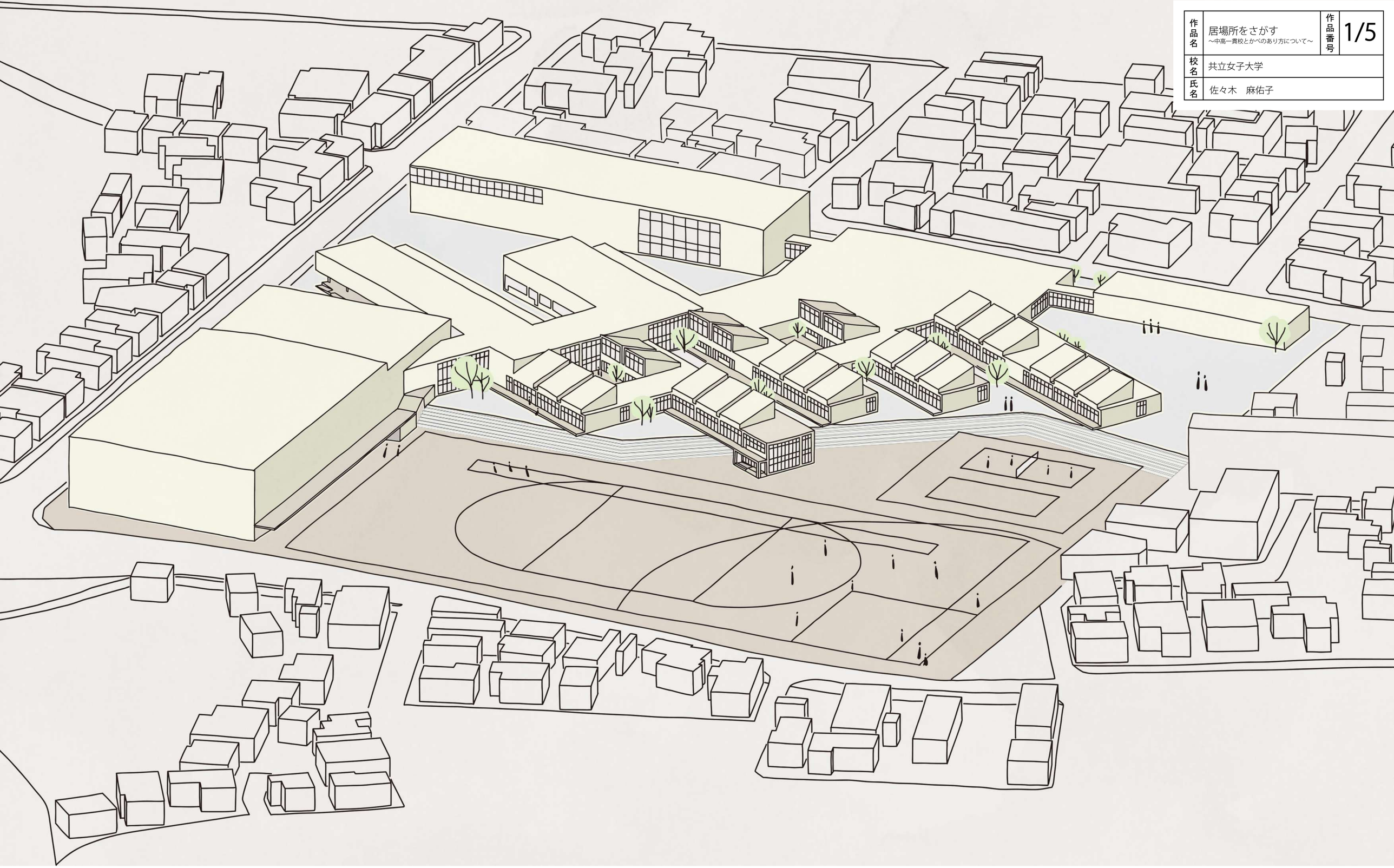
作品名	居場所をさがす ～中高一貫校とかべのあり方について～	作品番号	1/5
校名	共立女子大学		
氏名	佐々木　麻佑子		



居場所をさがす～中高一貫校とかべのあり方について～

作品名	居場所をさがす ～中高一貫校とかべのあり方について～	作品番号	2/5
校名	共立女子大学		
氏名	佐々木　麻佑子		

背景

近年各地で一貫校が増加しており、中でも目立つのが公立中高一貫校である。中等教育学校、併設型、連携型の３つのタイプがあり、併設型が全体の約 8 割を占めている。

茨城県では複数の現存する公立高校に中学校を新たに併設する動きが見られる。10 年前県内の中高一貫校は中等教育学校が一校のみだったが、2012 年に県内初の併設型公立中高一貫校として県立高校に附属中学校が設置され、翌年には県立中等教育学校が新設された。その後併設型を中心に急激に増加し 2020 年から 2022 年の間に茨城県内の併設型は 10 校、中等教育学校は３校となり、県内の公立高校の約１割が中高一貫校に変化した。県内学校への進学者数の確保や県内の中高一貫校人気の高まりなどの背景もありこの動きは一定の盛り上がりを見せているが、多くの面で課題を解決できずにいる。

自身の中高一貫校での経験を振り返り違和感を解決していくことで、これからの中高一貫校に求められる役割や空間について考える。

敷地

所在地：茨城県日立市若葉町３丁目１５－１

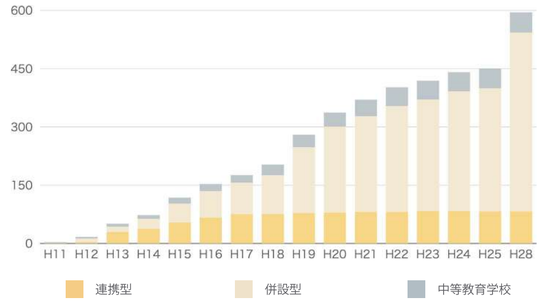
日立市は東西を海と山に挟まれた坂の多い町である。日立製作所をはじめとする企業によって支えられている企業城下町のひとつで、街中の大部分を工場、住宅、公共施設が占めている。対象敷地は現在日立第一高等学校・附属中学校がある市の中心部。当校は 10 年前に県立高校に中学校が併設された「併設型」中高一貫校である。高等学校の生徒数、クラス数を減らし、空いた教室で中学生は生活している。

中高一貫校数の推移と茨城県内での設置状況

全国の中高一貫校は年々増加し続け、平成 11 年の 4 校から 17 年間で 595 校になった。連携型、中等教育学校の学校数はここ数年横ばいだが、併設型は平成 28 年には 461 校にまで増加している。

茨城県の県立高校でも令和 2 年を境に多くの学校で中学校を併設する動きが見られる。

中高一貫教育校数の推移



茨城県の中高一貫校設置状況

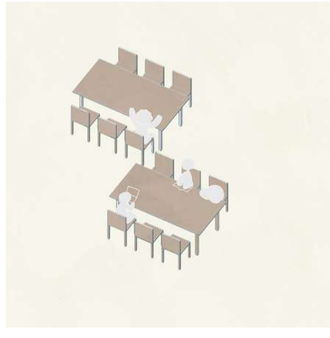
開校年度	設置形態	対象校名（高等学校）
平成15年度	連携型	小瀬
平成20年度	中等教育学校	並木
平成24年度	併設型	日立第一
平成25年度	併設型	古河
令和2年度	併設型	太田第一、鉾田第一、鹿島、竜ヶ崎第一、下館第一
令和3年度	併設型	水戸第一、土浦第一
	中等教育学校	勝田
令和4年度	併設型	下妻第一、水海道第一

計画概要

● ４つの居場所

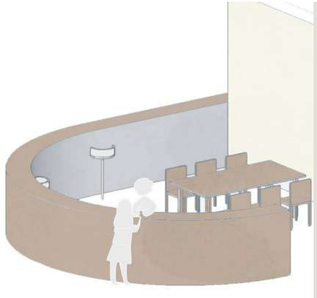
・高校生の先輩と関わるチャンスがない ・中学生の後輩と仲良くしたいけれどどうすればいいか分からない	中高の共有スペースを増やし、会話のチャンスをつくる
・職員室は緊張するから先生に質問に行きづらい	教師ステーションで先生に話しかけやすく
・自習室で静かに勉強するのは落ち着かない ・教室で勉強している人がいると友達としゃべりづらい	教室外に雑談・グループワーク席を用意
・他のクラスの人とゆっくり話せる場所がない	トイレ前にスペースを設けて井戸端会議を

かべの効果



A. 開放的な場所

・中高共用ラウンジ
・廊下席
・メインラウンジ
　グループワーク、ランチタイム、放課後のおしゃべりなどみんなでわいわいしたい時の居場所。
　壁が無いので隣のグループや通り過ぎる人とも仲良くなれるチャンス。

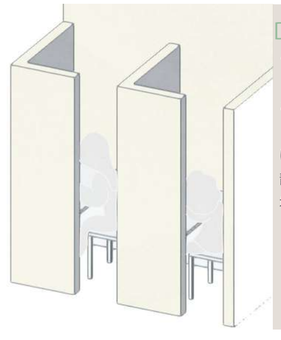


B. カウンター越しの場所

・教師ステーション
　先生に質問をしたり、相談ができる場所。
　職員室には入りづらくても、ここなら複数人で押しかけて先生と仲良くなれる。

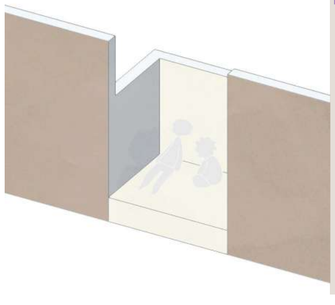
C. ガラス越しの場所

・教室前テラス
・制作テラス
　屋外活動や実技科目の実習ができるショーケースのような居場所。
　イベント時、合唱やダンスの練習場所にすれば毎日が発表会に。



D. 壁に囲まれた場所

・個人自習スペース
　１人で集中したい時にこもれる場所。
　テスト前や受験生以外にも、クラスから離れて静かに休みたい時の避難場所に。



E. 小上がりの場所

・廊下前
　靴を脱いで過ごせる居場所。
　休み時間にのんびりしたり、資料を床いっぱいに広げてグループワークをしたりもできる。

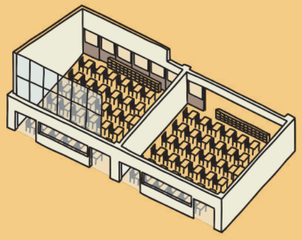
作品名	居場所をさがす ～中高一貫校とかべのあり方について～	作品番号	3/5
校名	共立女子大学		
氏名	佐々木　麻佑子		

教室の種類

学年の教育を考慮し、教室の開放度と共有スペースの役割に焦点を当て、学内空間を計画した。

●３種類の教室

フルオープンにできる教室

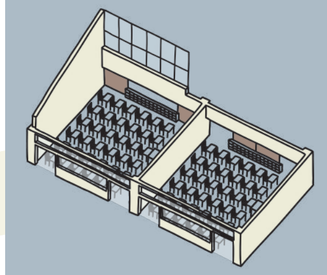


中学１・２・３年生

廊下側の壁を無くし窓付き６連の引き戸にすることで、参観日やグループワークで広く教室を使いたい時に、廊下と一体の空間として利用できる。

生徒用ロッカーを可動式の棚にし、シーンに応じて教室外との距離を選択できる。

半開放できる教室

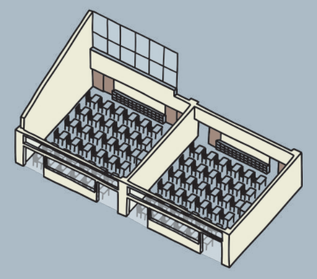


高校１・２年生

廊下側に大きな引き戸を２枚設置。戸の開け方で教室の開放感や視線の通りに変化をつけることができる。

生徒用ロッカーは廊下側に固定し壁の一部として教室と廊下を隔てる。

閉め切ることができる教室

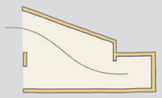


高校３年生

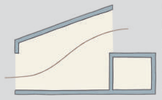
廊下側の半分は生徒用ロッカーと壁で隔てられている。

教室前後の引き戸を閉めると廊下と教室を完全に仕切ることができ、テストや模試に対応した緊張感のある空間を作ることができる。

●開口



中学教室
廊下側に広く開き、南側上部の開口から空間全体が照らされる。

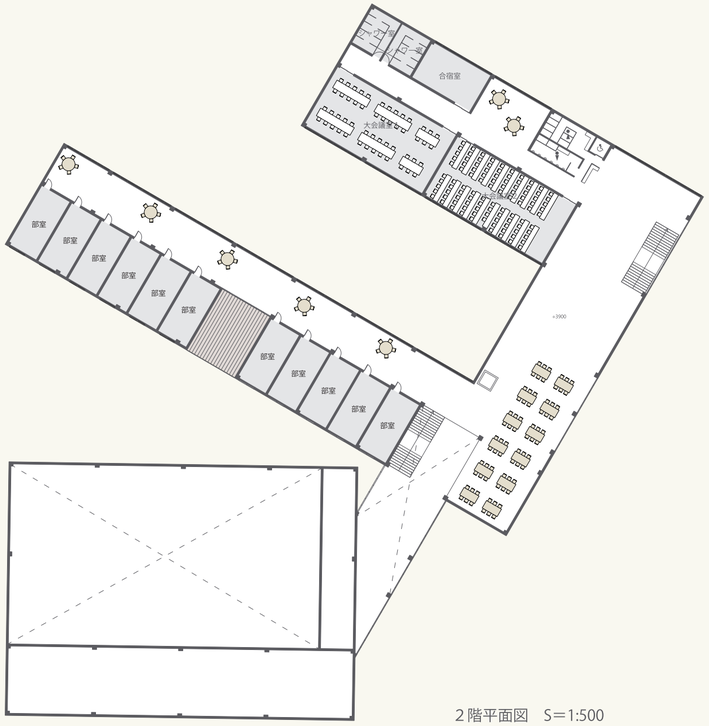


高校教室
庭側に開き閉塞感を軽減し、北側上部からも採光が得られる。

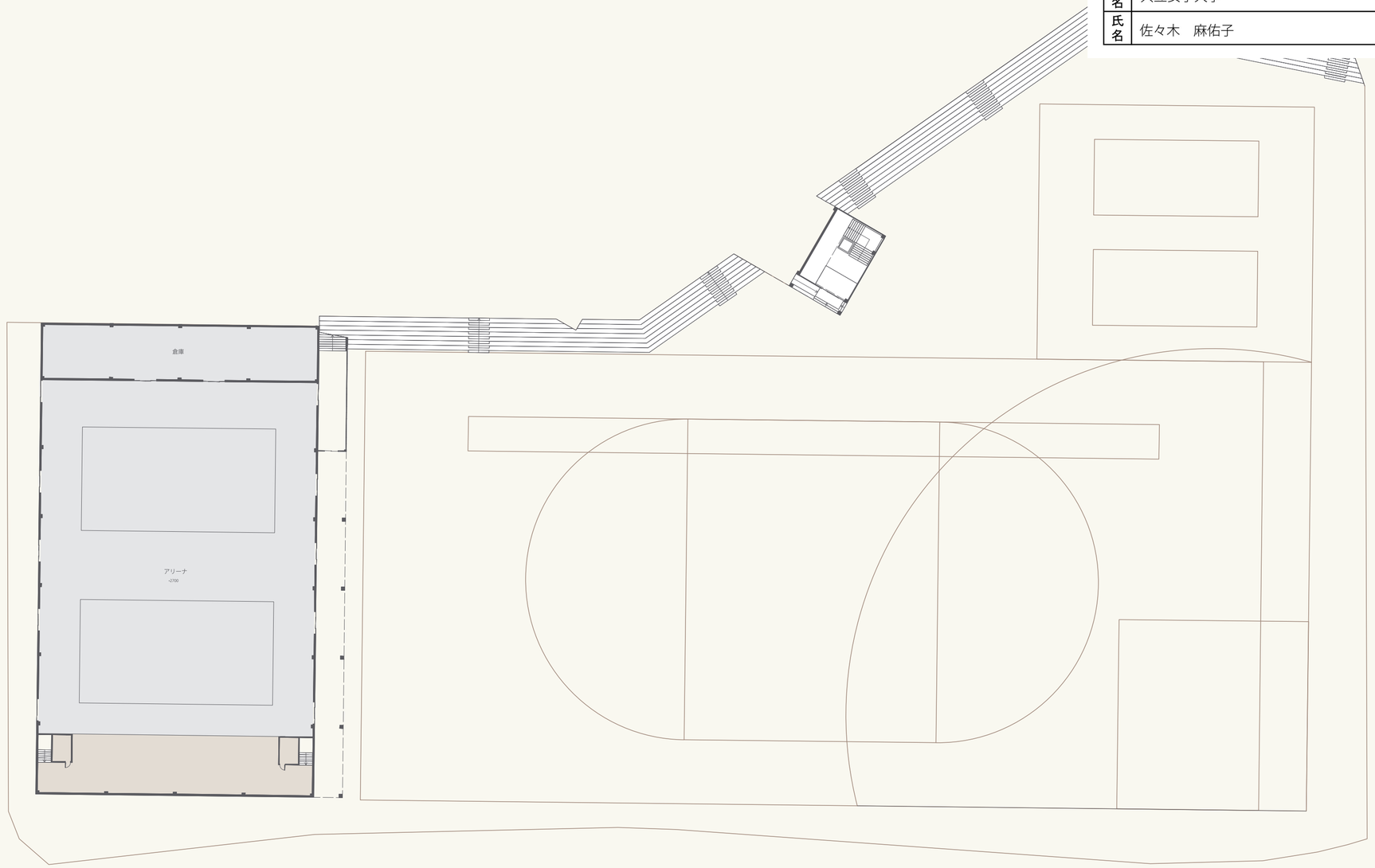
A.開放的な場所　B.カウンター越しの場所　C.ガラス越しの場所　D.壁に囲まれた場所　E.小上がりの場所

1 階平面図　S=1:500

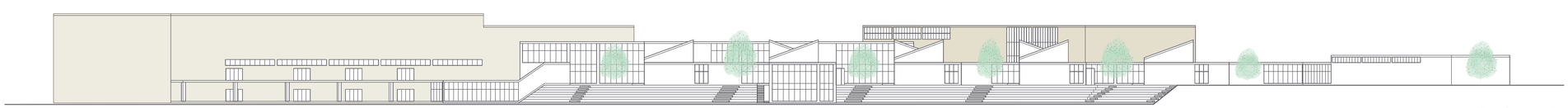
作品名	居場所をさがす ～中高一貫校とかべのあり方について～	作品番号	4/5
校名	共立女子大学		
氏名	佐々木　麻佑子		



2階平面図　S＝1:500



B1 平面図　S＝1:500



東側立面図　S＝1:500

BB’ 断面図　S＝1:500

AA’ 断面図　S＝1:500

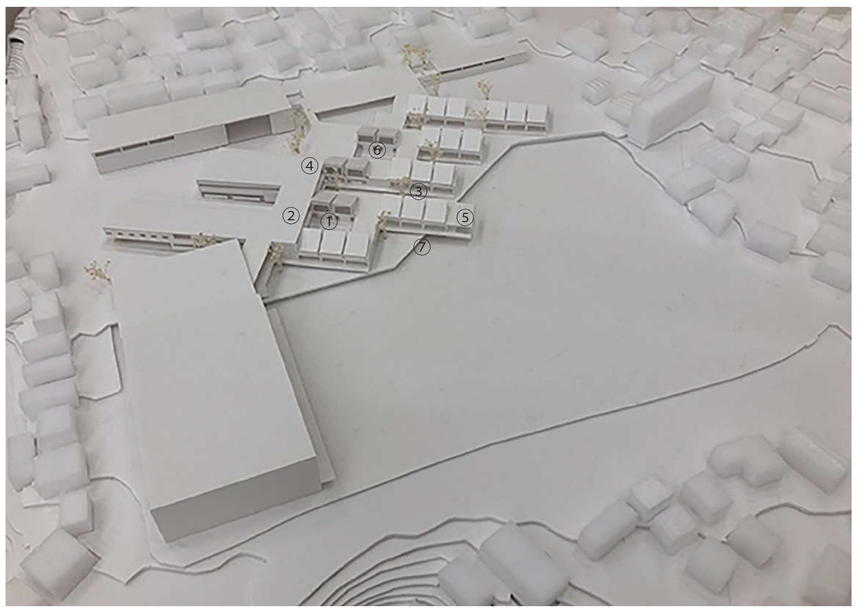
作品名	居場所をさがす ～中高一貫校とかべのあり方について～	作品番号	5/5
校名	共立女子大学		
氏名	佐々木　麻佑子		

①教室前テラス
部活の練習中。廊下を行き交う人の視線を集める。

②メインラウンジ
読書やおしゃべり、ミーティングなど自由に過ごす。

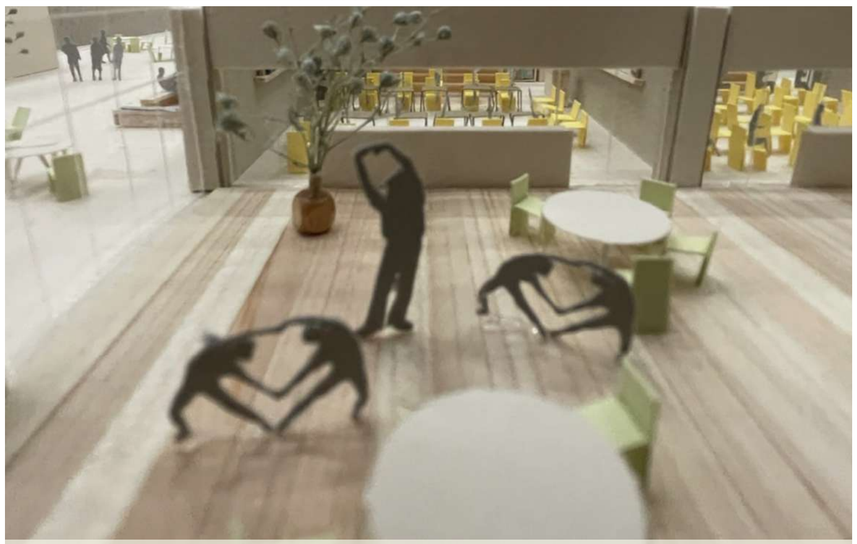
③教室前庭
授業の合間に外に出てリフレッシュ。

④図書コーナー・教師ステーション
宿題を進めたり、先生に相談したり、自分と向き合える場所。

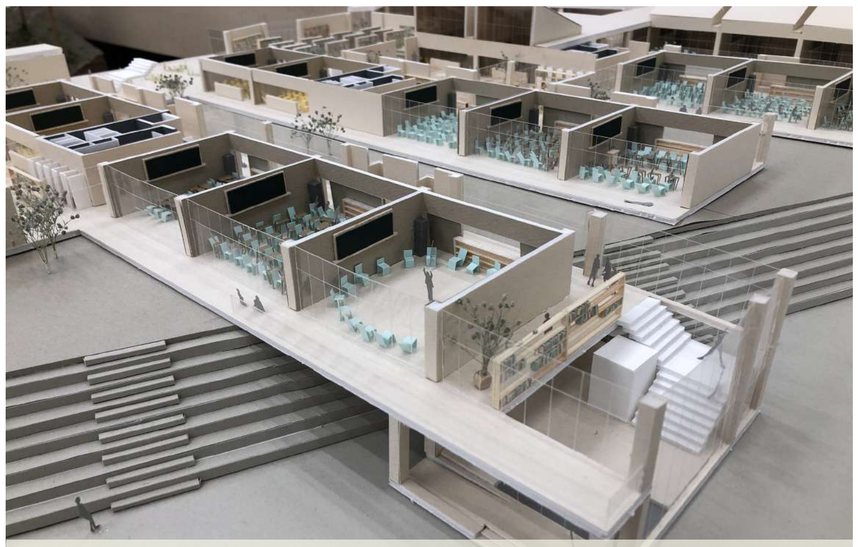


⑤グラウンド側階段
ガラス張りの開放感のある場所。階段に座ったり、踊り場で注目を集めてみたり。

模型全体像



⑥教室前テラス
自主練やストレッチにも使うことができる。



⑦グラウンド側から見る
外部の大階段と室内の階段、エレベーターからグラウンドにアクセスする。